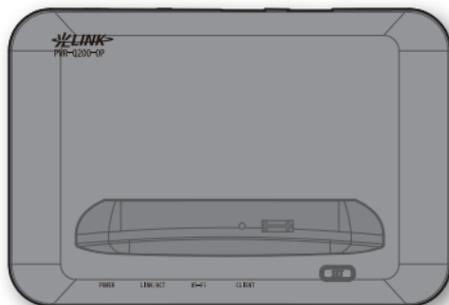


PWR-Q200-OP

取扱説明書

このたびは、PWR-Q200-OPをご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



Wi-Fiクレードル

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマーク説明

| | |
|--|--|
|  警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |
|  お願い | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。 |
|  お知らせ | 商品の取り扱いにあたって注意すべき事項です。 |
|  メモ | 商品の取り扱いに関する補足事項、知っておくべき事項です。 |
|  参照 | 関連のある項目やページや情報を記しています。 |

■ お守りいただきたい内容を次の図記号で説明しています。

■ 警告・注意を促す記号



注 意



発火注意



感電注意

■ 行為を禁止する記号



禁 止



火気禁止



風呂等での
使用禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止

■ 行為を指示する記号



電源プラグ
を抜く

■ 指示を守る記号



ご使用にあたって

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをして下さい。

- ご使用の際は取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。
- 本書で説明に使用している画面表示は一例です。お使いの Web ブラウザやお使いの OS パーソンによって画面のレイアウトやボタン名称などが異なります。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品を日本国外で使用された場合、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本商品を運用した結果の他への影響については、上記に関わらず責任は負いかねますのでご了承ください。
- 本商品は一般的な家庭の OA 機器としてお使いください。万一、一般 OA 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関わる設備や機器、および海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んだ使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本商品を使用され、本商品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じて、当社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意ください。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万一本商品に登録された情報内容が消失してしまうことなどの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申し付けください。
- この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。
- 本商品に搭載されているソフトウェアの解析（逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリングなど）、コピー、転売、改造を行うことを禁止します。
- 本商品を紛失・毀損した場合および解約後に返却いただけない場合は、補償金を申し受けますのであらかじめご了承ください。
- 本商品の譲渡や転売（オークションへの出品を含む）等の行為は禁止します。

【返却される場合の留意事項】

本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品のデータ流出などによる不測の損害を回避するために、本商品を返却される際には、取扱説明書をご覧のうえ、本商品内に登録または保持されたデータを消去くださいますようお願いいたします。

厳守事項

● ユーザ ID とパスワードの取り扱いについて

ユーザ ID とパスワードはお客様の大切な個人情報です。入力は必ずお客様自身で行ってください。

● 取扱説明書の内容について

機能追加などにより本書の内容は予告なく変更されることがあります。機能追加や変更などに関するサポート情報につきましては、以下のホームページの更新情報を定期的に関覧していただくことを推奨します。

当社ホームページ

| | |
|---------|---|
| NTT 東日本 | http://web116.jp/ced/ |
|---------|---|

本商品は、「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制対象品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。

警告

設置場所

● 風呂、シャワー室への設置禁止

風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。
漏電して、火災・感電の原因となります。



● 水のかかる場所への設置禁止

水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。
漏電して、火災・感電の原因となります。



● 本商品や電源アダプタ(電源プラグ)のそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品や電源アダプタ(電源プラグ)に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



● 本商品や電源アダプタ(電源プラグ)を次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

- ・ 屋外、直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなどの温度が上がる場所
- ・ 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所
- ・ 湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所
- ・ ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所
- ・ 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所



● 自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くに置かないでください。

本商品からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となることがあります。



警告

こんなときは

● 発煙したり変なにおいがした場合

万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源アダプタ（電源プラグ）を抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



● 水が装置内部に入った場合

万一、本商品やケーブル、モジュラージャックの内部に水などが入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因となります。



● 異常音が生じたり、本商品が熱くなっている場合

本商品から異常音が生じたり、本商品が熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。



● 異物が装置内部に入った場合

本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



● 破損した場合

万一、落としたり、破損した場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。



● 電源アダプタの取り扱い注意

付属の電源アダプタ以外を使用したり、付属の電源アダプタを他の製品に使用したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。また、電源アダプタに物を載せたり、掛けたりしないでください。過熱し、火災・感電の原因となることがあります。



警告

● 電源アダプタの設置の注意

電源アダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。

また、電源アダプタ本体を宙吊りに設置しないでください。電源プラグと電源コンセント間に隙間が発生し、ほこりによる火災が発生する可能性があります。

電源アダプタ（電源プラグ）は容易に抜き差し可能な電源コンセントに差し込んでください。



● 電源コードが傷んだ場合

電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。



● 電源コードの取り扱い注意

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。火災・感電の原因となります。

重い物を載せたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



禁止事項

● 延長コード利用の禁止

電源アダプタ（電源プラグ）のコードには、延長コードは使わないでください。火災の原因となることがあります。



● たこ足配線の禁止

本商品の電源コードは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱・劣化し、火災の原因となります。



● 商用電源以外の使用禁止

AC100 ± 10V (50/60Hz) の商用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。

差込口が2つ以上ある壁などの電源コンセントに他の電気製品の電源アダプタ（電源プラグ）を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。



警告

- 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接かかわる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。
- 分解改造の禁止
本商品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。
- めらすことの禁止
本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、ケーブル、モジュラージャックに水が入ったりしないよう、また、めらさないようにご注意ください。漏電して火災・感電の原因となります。また、LAN ケーブルのモジュラープラグがめれた場合は、乾いても、そのLAN ケーブルを使わないでください。
- めれた手で操作禁止
めれた手で本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、ケーブル、モジュラージャックを操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器などの中に入れてください。
火災・やけど・けが・感電・故障の原因となります。
- コンセントにつながれた状態でコネクターをショートさせないでください。また、コネクターに導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）を触れさせたり、内部に入れたりしないでください。
火災・やけど・けが・感電・故障の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
火災・やけど・けが・感電・故障の原因となります。
- 使用中や充電中に、布や布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災・やけどの原因となります。



警告

- 本商品の小さな部品（ゴム足など）を乳幼児の手の届くところに置かないでください。
誤って飲み込み、窒息や胃などへの障害の原因になります。
万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。 
- 故障や異常のまま、つながないでください。
本商品に故障や異常がある場合は、必ず接続している機器を取り外してください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。 


- じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わないでください。
火災の原因となります。 

- 本商品の内部や周囲でエアダスターやスプレーなど、可燃性ガスをを使用したスプレーを使用しないでください。引火による爆発、火災の原因となります。 


その他のご注意

- 異物を入れないための注意
本商品やケーブル、モジュージャックの上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな貴金属を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。 


- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。 
- 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカーなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカーなどが誤動作するなどの原因となることがあります。
また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。 
- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。
人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混雑が発生する恐れがあります。 

⚠ 注意

設置場所

● 火気のそばへの設置禁止

本商品やケーブル類、電源アダプタを熱器具に近づけないでください。ケースやケーブルの被覆などが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



- #### ● 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそば、炎天下の車内など温度の高いところで使用、保管、放置しないでください。機器の変形、故障の原因となります。また、本商品の一部が熱くなり、やけどの原因となったり、内部の温度が上がリ、火災の原因となることがあります。



● 温度の低い場所への設置禁止

本商品を製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。



● 湿度の高い場所への設置禁止

風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところ（湿度 80% 以上）では設置および使用はしないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。



● 油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



● 不安定な場所への設置禁止

ぐらついた台の上や傾いたところ、振動、衝撃の多い場所など、不安定な場所に置かないでください。

また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



● 本商品を逆さまに置かないでください。



● 通風孔をふさぐことの禁止

本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。

- ・ 収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
- ・ じゅうたんや布団の上に置く
- ・ テーブルクロスなどを掛ける
- ・ 毛布や布団をかぶせる



⚠ 注 意

● 重ね置き禁止

本商品を重ね置きしないでください。重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



- ### ● 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品やケーブルの内部に結露が発生し、火災・感電の原因となることがあります。



● 長時間にわたり一定箇所に触れ続けしないでください。

充電中や動作中の本商品、電源アダプタに触れると、熱く感じる場合があります。

長時間にわたり一定箇所に触れ続けると、低温やけどを起こす恐れがあります。

このような状況が発生した場合、風通しの良い場所に置いて十分に放熱させ、使用してください。



- ### ● 塩水がかかる場所、亜硫酸ガス、アンモニアなどの腐食性ガスが発生する場所で使用しないでください。故障の原因となることがあります。



禁止事項

● 乗ることの禁止

本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。



電源

● プラグの取り扱い注意

電源アダプタ（電源プラグ）は電源コンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源アダプタ（電源プラグ）の金属部に金属などが触れると火災、感電の原因となります。



- ### ● 本商品の電源アダプタ（電源プラグ）を抜き差しをする場合は、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いたら、10秒以上あけてから差し込んでください。



⚠ 注 意

● 電源アダプタ（電源プラグ）の清掃

電源アダプタ（電源プラグ）と電源コンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。

清掃の際は、必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。



● 長期不在時の注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。



その他のご注意

● 本商品を取り扱うときは、次のことを守ってください。

- ・ 端子に針金などの金属を接続させないでください。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
- ・ 火の中に投下しないでください。
- ・ 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。



● 移動させるときの注意

移動させる場合は、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



● 雷のときの注意

落雷の恐れのあるときは、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてご使用をお控えください。落雷時に、火災・感電、故障の原因となることがあります。雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。



● 火災・地震などが発生した場合、本商品の状態を確認し、異常が認められた場合には当社のサービス取扱所までご連絡ください。装置故障の恐れがあります。



● 本書にしたがって接続してください。

間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。



STOP お願い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のようなところへの設置は避けてください。
 - ・ほこりや振動が多い場所
 - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
 - ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
 - ・特定無線局や移動通信体のある屋内
 - ・盗難防止装置など 2.4GHz 周波数帯域を利用している装置のある屋内
 - ・高周波雑音を発生する高周波マシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 本商品を電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。(電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など)
 - ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなることがあります。(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。)
 - ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - ・放送局や無線局などが近く、雑音が大きいつきは、本商品の設置場所を移動してみてください。
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与えます。
- 本商品と無線 LAN 端末の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。1m 以上離してお使いください。
- 本商品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。また、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。
- 本商品の隙間から虫が入ると、故障の原因となることがあります。
 - ・設置するときは、虫が入らないようご注意ください。

STOP お願い

禁止事項

- 動作中にケーブル類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となり、大切なデータを失うことがあります。動作中は、コネクターの接続部には絶対に触れないでください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

日頃のお手入れ

- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて行ってください。
- 汚れたら、乾いた柔らかい布でふき取ってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。
ただし、コネクタ部分はよくしぼった場合でもぬれた布では、絶対にふかないでください。
ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。
- 本商品に殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール、粘着テープなどを長時間接触させないでください。変形や変色の原因となることがあります。

ご利用前の注意事項

通信に関する注意事項

- お客様宅内での接続環境により、最大通信速度が得られない場合や、通信速度が変動する状態または通信が利用できない状態となる場合があります。
- インターネット常時接続をご利用の場合、ネットワークを介して外部からの不正侵入および情報搾取などの危険が増えます。必要に応じて、お客様のパソコンにファイアウォールのソフトウェアをインストールするなどの対応をお願いいたします。
- 電波状態が一定以上悪くなった場合には、突然通信が途切れることがあります。電波状態が良いところでも通信が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。本商品にパソコンなどの電子機器を非常に多く接続し、通信が集中した場合に、本商品が正常に動作できない場合がありますのでご注意ください。

お客様情報に関する注意事項

- 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータが流出すると不測の損害を受ける恐れがありますので、データの管理には十分ご注意ください。
- 本商品を返却される場合は、本商品を初期化することにより、本商品内のデータを必ず消去してください。
- 本商品の初期化は、本書に記載された初期化方法の手順にしたがって実施してください。

有線 LAN に関する注意事項

- 最大 1Gbps (規格値)、最大 100Mbps (規格値) および最大 10Mbps (規格値) は 1000BASE-T、100BASE-TX および 10BASE-T の有線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ伝送速度 (実効値) を示すものではありません。

無線 LAN に関する注意事項

- 最大 300Mbps (規格値) や最大 54Mbps (規格値)、最大 11Mbps (規格値) は、本商品と同等の構成を持った機器との通信を行ったときの理論上の最大値であり、実際のデータ伝送速度 (実効値) を示すものではありません。

- 無線 LAN の伝送距離や伝送速度は、周囲の環境条件（通信距離、障害物・電子レンジなどの電波環境要素、使用するパソコンの性能、ネットワークの使用状況など）により大きく変動します。
- IEEE802.11n (5GHz) および IEEE802.11a (W52) / (W53) の屋外での使用は電波法により禁止されています。
- IEEE802.11a (W52) / (W53) は 5.2 ~ 5.3GHz 帯の周波数を使用しています。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g および IEEE802.11n を使用する機器が混在している場合は、使用する機器のスループットが著しく下がることがあります。
- IEEE802.11n 通信を行うためには、無線 LAN 端末の暗号化を「WPA-PSK (AES)」または「WPA2-PSK (AES)」(推奨) に設定する必要があります。

ファームウェアのアップデートに関する注意事項

本商品は、常に最新のファームウェアをご利用いただけるよう、ファームウェアのアップデート設定が「自動更新」に設定されています。

自動更新の場合、最新のファームウェアが公開されると、ファームウェアのアップデートを自動で行います。

ファームウェアをアップデートするには、インターネットとの接続が必要です。

バージョンアップを行うと、本商品が再起動し、通信は切断されます。

詳細は、リファレンスガイドの「Web 設定画面」の [管理設定] - [アップデート] を参照してください。

電波に関するご注意

無線 LAN 機器の電波に関するご注意

本商品は、2.4GHz 帯域の電波を使用しています。
この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用構内無線局、および免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生し、何かお困りのことが起きた場合には、取扱説明書巻末記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

- 本商品は、日本国内でのみ使用できます。
- 次の場所では、電波が反射して通信できない場合があります。
 - ・ 強い磁界、静電気、電波障害が発生するところ（電子レンジ付近など）
 - ・ 金属製の壁（金属補強材が中に埋め込まれているコンクリートの壁も含む）の部屋
 - ・ 異なる階の部屋どうし
- 本商品と同じ無線周波数帯の無線機器が、本商品の通信可能エリアに存在する場合、伝送速度の低下や通信エラーが生じ、正常に通信できない可能性があります。
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
- 本商品を 5.2GHz/5.3GHz 帯で使用する場合は、屋外で使用しないでください。法令により 5.2GHz/5.3GHz 無線機器を屋外で使用することは禁止されているため、屋外で使用する場合は、あらかじめ 5.2GHz/5.3GHz 帯の電波を無効にしてください。
- 本商品を IEEE802.11n (5GHz) および IEEE802.11a で通信利用時は、5GHz 帯域の電波を使用しております。5.2GHz/5.3GHz 帯域の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。
 - ・ 使用可能なチャネル

| | |
|-----------------|--|
| IEEE802.11b/g | W52 仕様 (5.2GHz 帯 /36ch,40ch,44ch,48ch) |
| IEEE802.11a/n | W53 仕様 (5.3GHz 帯 /52ch,56ch,60ch,64ch) |
| J52 W52 W53 W56 | |
- 無線 LAN アクセスポイントとしては、従来の IEEE802.11a で使用の 34,38,42,46ch (J52) と 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch (W56) の装置と IEEE802.11a モードでの通信はできません。

- W53 (52/56/60/64ch) を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
 - 各チャンネルの通信開始前に 1 分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
 - 通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャンネルが変更されるので、通信が中断されることがあります。
- 本商品は、技術基準適合認証を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・ 本商品を分解 / 改造すること
- 本商品は、他社無線 LAN カードやパソコン内蔵の無線との動作を保証するものではありません。
- 本商品は 2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

本商品に表示した

| | | |
|-----|-------|---|
| 2.4 | DS/OF | 4 |
|-----|-------|---|

 は、次の内容を示します。

| | | |
|-------|----------|---------------------------------|
| 2.4 | 使用周波数帯域 | 2.4GHz 帯 |
| DS/OF | 変調方式 | DS-SS および OFDM 方式 |
| 4 | 想定干渉距離 | 40m 以下 |
| ■ ■ ■ | 周波数変更の可否 | 全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であること |

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 製品は、セキュリティの仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。

無線 LAN 機器は、工場出荷状態においては、セキュリティに関する設定が行われていない場合があります。

したがって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもありえますので、ご理解のうえ、ご使用ください。

セキュリティの設定などについて、ご不明な点があれば、裏表紙に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することを推奨します。

セキュリティ対策を行わず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

オープンソースソフトウェアについて

本商品に格納されたソフトウェアの一部にはオープンソースソフトウェアが含まれております。当該ソフトウェアに関するライセンス条件などはリファレンスガイドを参照してください。

Windows[®]、Windows Vista[®]は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Windows Vista[®]はオペレーティングシステムです。

Internet Explorer[®]は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Mac OS、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

らくらく無線スタートは、NEC アクセステクニカ株式会社の登録商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、各会社名、各製品名およびサービス名などは各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアはいかなる改変も禁止とし、それに起因する障害について当社は一切の責任を負いません。

目次

1

はじめに

| | | |
|-----|-------------------|------|
| 1-1 | 特長 | 1-2 |
| | 対応 OS | 1-2 |
| 1-2 | 付属品の確認 | 1-3 |
| 1-3 | 各部の名称 | 1-4 |
| | PWR-Q200-OP | 1-4 |
| 1-4 | 本商品の初期化 | 1-10 |
| 1-5 | PWR-Q200の設置 | 1-11 |

2

設置

| | | |
|-----|-----------------------|-----|
| 2-1 | ルータモードでの設置 | 2-2 |
| 2-2 | アクセスポイントモードでの設置 | 2-4 |

3

接続設定

| | | |
|-------|---|------|
| 3-1 | 有線LANによる接続 | 3-2 |
| 3-2 | 無線LANによる接続 | 3-3 |
| 3-2-1 | WPS（プッシュボタン式）を使って接続 （Windows® 7） | 3-4 |
| | Windows® 7 の場合 | 3-5 |
| 3-2-2 | 無線ネットワーク名（SSID）を検索して手動 で接続（Windows® 7、Windows Vista®、 Windows® XP、Mac OS X） | 3-7 |
| | Windows® 7 の場合 | 3-8 |
| | Windows Vista® の場合 | 3-9 |
| | Windows® XP の場合 | 3-10 |
| | Mac OS X の場合 | 3-11 |

| | | |
|----------|----------------------------|-----|
| 4 | インターネットに接続 | |
| 4-1 | Web設定画面へのアクセス | 4-2 |
| 4-2 | ルーターモードのPPPoE設定 | 4-6 |
| 5 | その他の設定 | |
| 5-1 | クライアントモード | 5-2 |
| 6 | 困ったときは | |
| 6-1 | 有線LANでインターネットに接続できない | 6-2 |
| 6-2 | Web設定画面を開けない | 6-4 |
| 6-3 | 無線LANでインターネットに接続できない | 6-6 |
| 6-4 | その他で困ったときは | 6-7 |
| 7 | 付録 | |
| 7-1 | 仕様一覧 | 7-2 |
| 7-2 | パソコンのネットワーク設定 | 7-4 |
| | Windows® 7 | 7-4 |
| | Windows Vista® | 7-5 |
| | Windows® XP | 7-5 |
| | Mac OS X | 7-6 |
| 7-3 | リファレンスガイドについて | 7-7 |

— MEMO —

はじめに

1

この章では、付属品や各部の名称、お使いになる前に確認していただきたいことを説明しています。

| | | |
|-----|-------------|------|
| 1-1 | 特長 | 1-2 |
| 1-2 | 付属品の確認 | 1-3 |
| 1-3 | 各部の名称 | 1-4 |
| 1-4 | 本商品の初期化 | 1-10 |
| 1-5 | PWR-Q200の設置 | 1-11 |

1-1 特長

本商品はPWR-Q200のオプション品で、Wi-Fiクレードルです。本商品の主な特長は次のとおりです。

- 無線LAN機能
 - ・ 無線LAN通信速度 最大300Mbps（規格値）に対応
 - ※デュアルチャネルを「使用する」に設定した場合の通信速度です。なお、デュアルチャネルを「使用する」に設定した場合でも、ご利用の環境によってはデュアルチャネルがご利用頂けない場合があります。
 - ・ 2.4GHz（802.11b/g/n）および5GHz（802.11a/n）の両帯域を同時に利用可能
- ブロードバンドルータ機能（有線LANの機能）
 - ・ Ethernet ポートは、最大1Gbps（規格値）に対応
 - ・ INTERNET ポートとLAN ポートを独立して1つずつ実装
 - ・ ルータモード、アクセスポイントモードに対応
- PWR-Q200のクレードルとして利用可能
 - ・ 本商品は、PWR-Q200を直接設置し充電クレードルとして利用可能。
 - ・ PWR-Q200を本商品に設置すると、PWR-Q200のすべての無線機能（3G、Wi-Fi）が終了され、本商品の機能により、インターネット接続が可能となります。
 - ※ PWR-Q200を本商品に設置している際はPWR-Q200のmicroSDカードへのアクセス、PWR-Q200への充電およびファームウェア更新機能を実行することができません。

対応OS

※2012年7月時点での情報です。

- ・ Windows® XP SP3（32ビット）
- ・ Windows Vista® SP2（32ビット/64ビット）
- ・ Windows® 7（32ビット/64ビット）
- ・ Mac OS X 10.5以降

※各OSに準拠したWebブラウザをご利用ください。

※本書では、Windows® 7は、Windows® 7 Starterの各日本語版かつ32ビット（x86）版、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 EnterpriseおよびWindows® 7 Ultimateの各日本語版かつ32ビット（x86）版または64ビット（x64）版の略として使用しています。

※本書では、Windows Vista®は、Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® BusinessおよびWindows Vista® Ultimateの各日本語版かつ32ビット（x86）版または64ビット（x64）版の略として使用しています。

1-2 付属品の確認

ご利用の前に、付属品がすべてそろっていることを確認してください。セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

- | | |
|------------------------------------|----|
| ● PWR-Q200-OP本体 | 1台 |
| ● 電源アダプタ | 1式 |
| ● LANケーブル（約2m、青、カテゴリー5e） | 1本 |
| ● 簡単セットアップガイド／各種端末接続ガイド | 1枚 |
| ● 取扱説明書（本書） | 1冊 |
| ● 本商品のご使用時の注意 | 1枚 |
| ● 無線電波注意ラベル （無線LAN機器の電波に関するご注意） | 1枚 |



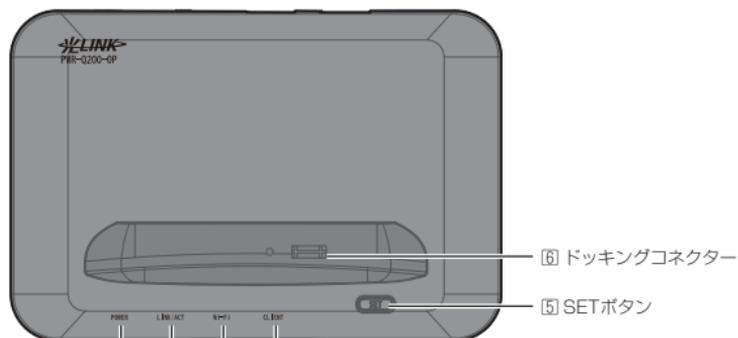
警告

他の電源アダプタを本商品に使用しないでください。また、付属の電源アダプタを、他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

1-3 各部の名称

PWR-Q200-0P

上部



- ① POWER (電源) ④ CLIENT (クライアントモード)
 ② LINK/ACT (有線LAN) ③ Wi-Fi (無線LAN)



| LED種別 | 内容 | 表示色 | 状態 |
|--------------|----------------------------|-----|----------|
| ① POWER (電源) | 給電中 | 緑 | 点灯 |
| | らくらく無線スタートで検索中 | 緑 | 点滅 |
| | らくらく無線スタートによる設定完了 | 橙 | 点灯 (10秒) |
| | らくらく無線スタートでの設定に失敗 | 赤 | 点滅 |
| | WPSでの設定に失敗 | | |
| | 初期化準備中 | 橙 | 点滅 |
| | らくらく無線スタート登録中 | | |
| | WPS無線設定中 | | |
| | ファームウェアバージョンアップ中 (再起動待ち状態) | | |

| LED種別 | | 内容 | 表示色 | 状態 |
|-----------------------|--|---|-----|-------------|
| ① POWER (電源) | | WPSによる設定完了 | 緑 | 点滅 (10秒) |
| | | 未給電 | — | 消灯 |
| ② LINK/ACT (有線LAN) | | ルータモード ● PPPoE確立 ● WAN側IPアドレス正常 | 緑 | 点灯 |
| | | PPPoEサーバー応答確認中 | 緑 | 点滅 |
| | | PPP認証を再確認中 | 赤 | 点滅 |
| | | アクセスポイントモード/ クライアントモード WAN側IPアドレス正常 | 橙 | 点灯 |
| | | アクセスポイントモード/ クライアントモード WAN側IPアドレス異常 ※WAN側DHCPサーバー無しの場合など | 赤 | 点滅 |
| | | ルータモードの場合にPPPリ ンクが確立していません。 | — | 消灯 |
| | | リンクダウン | | |
| ③ Wi-Fi (無線LAN) | ルータ モード /アク セスポ イント モード | 2.4GHz / 5GHz同時稼働中 | 緑 | 点灯 |
| | | 2.4GHz / 5GHz同時通信中 | 緑 | 点滅 |
| | | 2.4GHz稼働中 もしくは 5GHz稼働中 | 橙 | 点灯 |
| | | 2.4GHz通信中 もしくは 5GHz通信中 | 橙 | 点滅 |
| | | 2.4GHz / 5GHz停止中も しくはECOモードで動作中 | — | 消灯 |
| | クライ アント モード | 電波強 稼働中 | 緑 | 点灯 |
| | | 電波中 稼働中 | 橙 | 点灯 |
| | | 電波弱 稼働中 | 赤 | 点灯 |
| | | 電波強 通信中 | 緑 | 点滅 |
| | | 電波中 通信中 | 橙 | 点滅 |
| | | 電波弱 通信中 | 赤 | 点滅 |
| | | 電波圏外 | — | 消灯 |

| LED種別 | 内容 | 表示色 | 状態 |
|----------------------|-------------------------|-----|----|
| ④ CLIENT (クライアントモード) | クライアントモード動作中 | 緑 | 点灯 |
| | ルータモードおよびアクセスポイントモード動作中 | — | 消灯 |

| 名称 | コネクター形状 | 機能説明 |
|--------------|---------|---------------------------|
| ⑤ SETボタン | プッシュ型 | らくらく無線スタート、WPSを起動するためのボタン |
| ⑥ ドッキングコネクター | — | PWR-Q200と接続するためのコネクター |



メモ

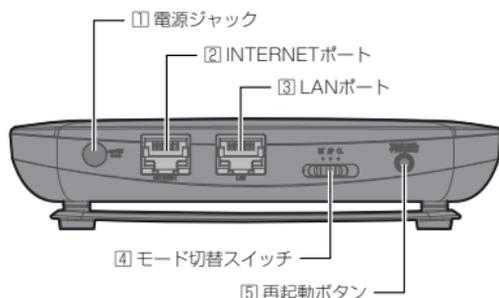
ルータモードまたはアクセスポイントモードでECOモード起動中は、POWER（電源）のLEDランプのみ緑遅点滅して他のLEDランプは消灯します。



参照

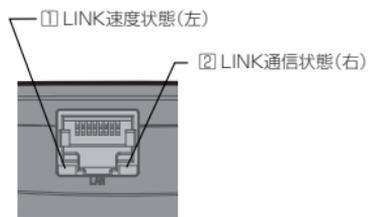
らくらく無線スタートでの接続は、工場出荷時の状態では2.4GHzに設定されます。5GHzに変更する方法はリファレンスガイドを参照してください。

側面



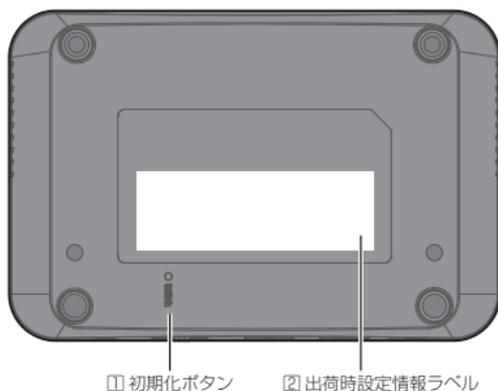
| 名称 | コネクター形状 | 機能説明 |
|---------------|-----------|---|
| ① 電源ジャック | — | DC 12V / 1.5A |
| ② INTERNETポート | RJ-45 (青) | 1000BASE-T/ 100BASE-TX/ 10BASE-T 自動設定 |
| | | MDI/MDI-X自動設定 |
| ③ LANポート | RJ-45 (黒) | 1000BASE-T/ 100BASE-TX/ 10BASE-T 自動設定 |
| | | MDI/MDI-X自動設定 |
| ④ モード切替スイッチ | スライド型 | 本商品のモード (RT : ルータモード / AP : アクセスポイントモード / CL : クライアントモード) を切り替えるためのスイッチ |
| ⑤ 再起動ボタン | プッシュ型 | 再起動を行うためのボタン 約1秒以上押しすと再起動 |

側面 (INTERNETポート/LANポート)



| LED種別 | 内容 | 表示色 | 状態 |
|--------------------|--------------------|-----|----|
| ① LINK 速度状態 (左) | 100/1000Mbps | 橙 | 点灯 |
| | 10Mbps | — | 消灯 |
| | 未リンクもしくはECOモードで動作中 | — | 消灯 |
| ② LINK 通信状態 (右) | 通信中 | 緑 | 点滅 |
| | 無通信状態 | 緑 | 点灯 |
| | 未リンクもしくはECOモードで動作中 | — | 消灯 |

底部



| 名称 | 説明 |
|--------------|---|
| ① 初期化ボタン | すべての設定値を工場出荷状態に戻すためのボタンです。 |
| ② 出荷時設定情報ラベル | 本商品の出荷時の無線ネットワーク名 (SSID) および暗号化キー、MACアドレスが記載されています。 |

1-4 本商品の初期化

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して、工場出荷状態に戻すことをいいます。

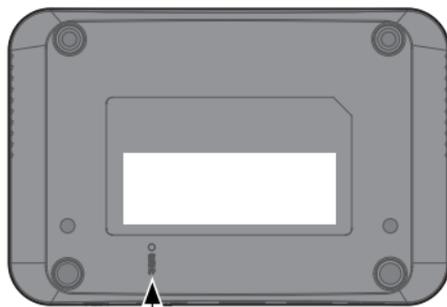
本商品が正常に動作しない場合や管理者パスワードを忘れたり、IP アドレスを間違えたりして本商品にアクセスできなくなった場合には、本商品を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。

「Web 設定画面」で初期化することもできます。詳細は、リファレンスガイドの「Web 設定画面」の「管理設定」－ [初期化] を参照してください。初期化すると、それまでに設定した値はすべて消去され、工場出荷状態に戻りますので、設定内容をパソコンのハードディスクなどに保存しておくことを推奨します。

詳細はリファレンスガイドを参照してください。

1 本商品の電源をONにします。

2 本商品底部の初期化ボタンを細い棒状のもの（電気を通さない材質のもの、つまようじの先など）で押し続け、POWER（電源）ランプが赤点滅をはじめたら放します。



初期化ボタン



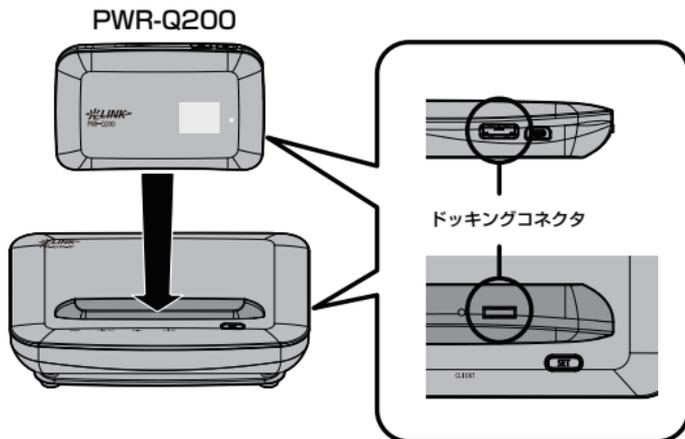
お知らせ

本商品に設定する（接続）ユーザ名や（接続）パスワードは重要な個人情報です。情報を盗まれると悪用される可能性がありますので、情報の管理には十分ご注意ください。本商品を当社に返却する場合など、本商品の利用をやめる際は、必ず初期化を行い、設定された情報を消去してください。

1-5 PWR-Q200の設置

PWR-Q200を取り付け、充電することが可能です。

※PWR-Q200以外は取り付けないでください。



PWR-Q200を本商品に設置すると、PWR-Q200のすべての無線機能（3G、Wi-Fi）が終了され、本商品の機能により、インターネット接続が可能となります。PWR-Q200を本商品に設置している際は、PWR-Q200の液晶ディスプレイにが表示され、PWR-Q200のmicroSDカードへのアクセス、PWR-Q200への充電およびファームウェア更新機能を実行することができます。



お知らせ

本商品への取り付けは、確実に行ってください。確実に取り付けられていないと、正常に動作しない場合があります。その場合は、PWR-Q200を本商品から完全に取り外したあとに、再度、確実に本商品に取り付け直してください。



参照

PWR-Q200の接続方法や設定についてはPWR-Q200の取扱説明書を参照してください。

— MEMO —

設置

2

この章では、モードごとの設置方法を説明しています。

| | |
|---------------------------|-----|
| 2-1 ルータモードでの設置 | 2-2 |
| 2-2 アクセスポイントモードでの設置 | 2-4 |

2-1 ルータモードでの設置

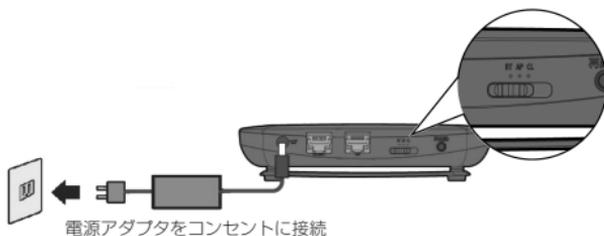
本商品は以下の3つのモードをサポートしています。

- ルータモード：本商品をルータとして利用するときのモード
 - アクセスポイントモード：本商品を無線LANのアクセスポイントとして利用するときのモード
 - クライアントモード：無線LAN機能がないパソコンなどで本商品を利用し、無線LAN端末として利用するときのモード
- ※クライアントモードについては「5章 その他の設定」を参照してください。

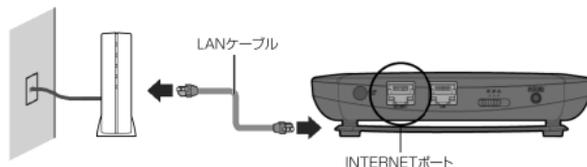
ルータモードは、ひかり電話ルータ（ブロードバンドルータなど）をご利用していない場合に使用します。（本商品をONU（回線終端装置）に直接接続します）

※モードを切り替える場合、電源コードをコンセントから抜き、一度電源を切ってから行ってください。

- 1** 本商品のモード切替スイッチを「RT」にセットして電源を入れます。



- 2** LANケーブルの一方をONU（回線終端装置）に接続し、もう一方を本商品のINTERNETポートに接続してからONUの電源を入れます。



3 本商品のLEDランプが次のように点灯するまでしばらくお待ちください。

- POWER (電源) 緑に点灯
- LINK/ACT(有線LAN) 消灯
- Wi-Fi(無線LAN) 緑に点灯または点滅

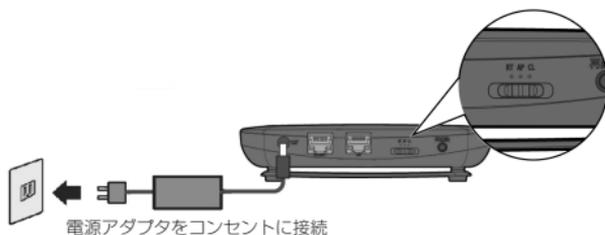
4 これで本商品のルータモードでの設置は完了です。引き続き、「3章 接続設定」をご確認ください。

2-2 アクセスポイントモードでの設置

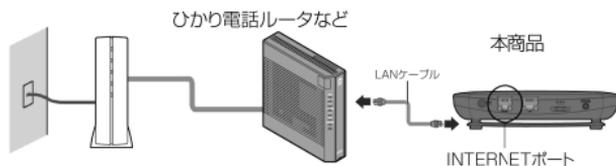
アクセスポイントモードは、すでにひかり電話ルータ（ブロードバンドルータなど）をご利用の場合に使用します。

※モードを切り替える場合、電源アダプタをコンセントから抜き、一度電源を切ってから行ってください。

- 1 本商品のモード切替スイッチを「AP」にセットして電源を入れます。



- 2 ひかり電話ルータなどのEthernetポートと本商品のINTERNETポートをLANケーブルで接続します。



お知らせ

新規でひかり電話をご利用の方は、ひかり電話ルータの設定を行ったあと、本商品の設定を行ってください。

3 本商品のLEDランプが次のように点灯するまでしばらくお待ちください。

- POWER (電源) 緑に点灯
- LINK/ACT(有線LAN) 橙点灯
- Wi-Fi(無線LAN) 緑に点灯または点滅

4 これで、本商品のアクセスポイントモードでの設置は完了です。引き続き、「3章 接続設定」をご確認ください。

— MEMO —

接続設定

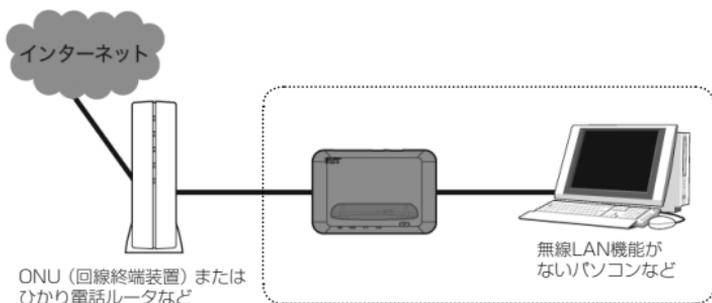
3

この章では、LANの接続方法を説明しています。

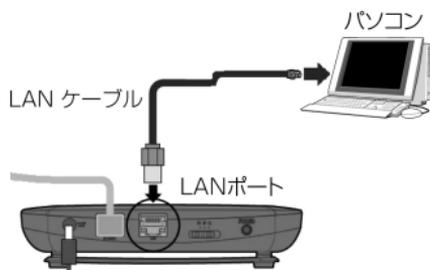
| | | |
|-----|------------|-----|
| 3-1 | 有線LANによる接続 | 3-2 |
| 3-2 | 無線LANによる接続 | 3-3 |

3-1 有線LANによる接続

無線LAN機能がないパソコンなどで本商品を利用する場合は、LANケーブルで接続します。



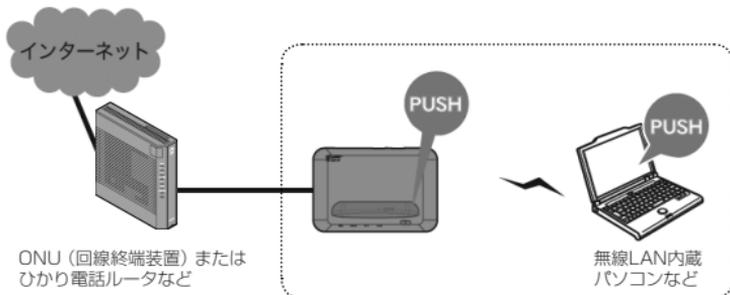
- LANケーブルの一方を本商品のLANポートに接続し、もう一方をパソコンのEthernetポートに接続します。



3-2 無線LANによる接続

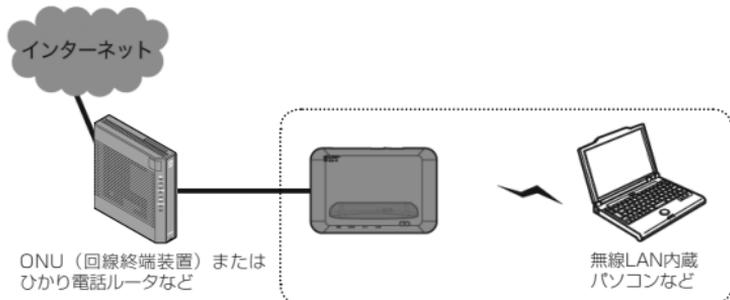
無線LAN内蔵パソコンと本商品との無線接続は以下2通りの方法があります。

● WPS (プッシュボタン式) を使って接続する (Windows® 7)



本商品のSETボタンを押して接続します。

● 無線ネットワーク名 (SSID) を検索して接続 (Windows® 7、Windows Vista®、Windows® XP、Mac OS X)



無線LAN内蔵パソコンなどから本商品を検索し、本商品に設定されている暗号化キーを使って接続します。



お知らせ

- IEEE802.11b、IEEE802.11g およびIEEE802.11n を使用する機器が混在している場合は、IEEE802.11nを使用する機器のスループットが著しく下がることがあります。
- IEEE802.11n通信を行うためには、無線LAN端末の暗号化を「WPA-PSK (AES)」または「WPA2-PSK (AES)」(推奨) に設定する必要があります。
- デュアルチャネルを「使用する」に設定していても、ご利用の環境によってはデュアルチャネルがご利用いただけない場合があります。

3-2-1 WPS (プッシュボタン式) を使って接続 (Windows® 7)

※Windows® 7では無線ネットワーク名 (SSID) を検索して手動で接続することも可能です。



出荷時の無線ネットワーク名 (SSID) は、このラベルに記載されています。

本商品の底部にある出荷時設定情報ラベルにて、本商品の無線ネットワーク名 (SSID) を確認します。

| | |
|---------------------------|---|
| SSID1 : opcl-q××××××-1 | 2.4GHz帯の無線ネットワーク名 (SSID) を示す。暗号化は「WPA2-PSK (AES)」が設定されています。 |
| SSID3 : opcl-q××××××-3 | 5GHz帯の無線ネットワーク名 (SSID) を示す。暗号化は「WPA2-PSK (AES)」が設定されています。 |



お知らせ

- 本商品は4つの無線ネットワーク名 (SSID) を使用することが可能です。
- 本商品は工場出荷状態では、SSID2とSSID4は「無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽 (ANY接続拒否)」が「する」に設定されています。
- WEPなど、WPA2-PSK (AES) に未対応の機器を使用して接続する方法はリファレンスガイドを参照してください。

Windows® 7の場合

- 1 タスクトレイに表示されるワイヤレスネットワークのアイコン  をクリックします。

※タスクトレイは通常画面右下にあります。

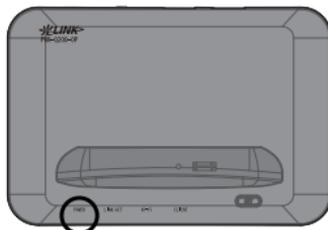
※アイコンの絵は異なる場合があります。

- 2 本商品の無線ネットワーク名 (SSID) を選択し、[接続] をクリックします。

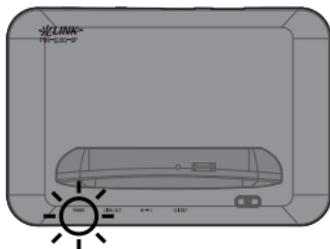
継続的にご使用される場合「自動的に接続する」にチェックを入れたあと、[接続] をクリックします。



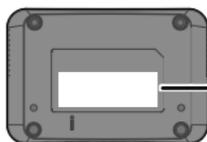
- 3 下のような画面が表示されたら、暗号化キーを入力せずに、本商品のSETボタンをPOWER（電源）ランプが緑点滅するまで押し続けてください。



- 4** 設定が完了すると自動的に画面が消えます。本体のPOWER（電源）ランプが緑に点滅10秒で設定完了です。



3-2-2 無線ネットワーク名 (SSID) を検索して手動で接続 (Windows[®] 7、Windows Vista[®]、Windows[®] XP、 Mac OS X)



出荷時の無線ネットワーク名 (SSID) と暗号化キーは、このラベルに記載されています。

本商品の底部にある出荷時設定情報ラベルにて、本商品の無線ネットワーク名 (SSID) と暗号化キーを確認します。

| | |
|---------------------------|---|
| SSID1 : opcl-qxxxxxx-1 | 2.4GHz帯の無線ネットワーク名 (SSID) を示す。 暗号化は「WPA2-PSK (AES)」が設定されています。 |
| SSID2 : opcl-qxxxxxx-2 | 2.4GHz帯の無線ネットワーク名 (SSID) を示す。 暗号化は「WEP (128bit)」が設定されています。 |
| SSID3 : opcl-qxxxxxx-3 | 5GHz帯の無線ネットワーク名 (SSID) を示す。 暗号化は「WPA2-PSK (AES)」が設定されています。 |
| SSID4 : opcl-qxxxxxx-4 | 5GHz帯の無線ネットワーク名 (SSID) を示す。 暗号化は「WEP (128bit)」が設定されています。 |



お知らせ

- 本商品は4つの無線ネットワーク名 (SSID) を使用することが可能です。
- 本商品は工場出荷状態では、SSID2とSSID4は「無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽 (ANY接続拒否)」が「する」に設定されています。
- WEPなど、WPA2-PSK (AES) に未対応の機器を使用して接続する方法はリファレンスガイドを参照してください。

Windows® 7の場合

- 1 タスクトレイに表示されるワイヤレスネットワークのアイコン  をクリックします。

※タスクトレイは通常画面右下にあります。
 ※アイコンの絵は異なる場合があります。

- 2 本商品の無線ネットワーク名 (SSID) を選択し、[接続] をクリックします。

継続的にご使用される場合「自動的に接続する」にチェックを入れたあと、[接続] をクリックします。



- 3 下のような画面が表示されたら、本商品の底部に記載されている無線ネットワーク名 (SSID) に対応した暗号化キーを入力してください。
 [OK] をクリックします



- 4 画面の指示にしたがって接続を完了してください。
 タスクトレイに表示されるワイヤレスネットワークのアイコンが接続状態になると接続完了です。

Windows Vista®の場合

- 1 タスクトレイに表示されるワイヤレスネットワークのアイコン  を右クリックします。

※タスクトレイは通常画面右下にあります。

※アイコンの絵は異なる場合があります。

- 2 [ネットワークに接続] をクリックします。

- 3 右のような画面が表示されたら、本商品の無線ネットワーク名 (SSID) を選択し、[接続] をクリックします。



- 4 「PIN コード入力画面」が表示された場合は、[代わりに、ネットワークキーまたはパスフレーズを入力する必要があります] をクリックします。表示されない場合は、手順5へ進んでください。



- 5 暗号化キーを入力する画面が表示されます。本商品の底部に記載されている無線ネットワーク名 (SSID) に対応した暗号化キーを入力してください。

[接続] をクリックします。

- 6 画面の指示にしたがって接続を完了してください。

パソコンの「ネットワークに接続」画面を確認すると、接続した無線ネットワーク名 (SSID) の横に「接続」と表示されます。

Windows® XPの場合

- 1** タスクトレイに表示されるワイヤレスネットワークのアイコン  を右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示] を選択します。

※タスクトレイは通常画面右下にあります
※アイコンの絵は実際と異なる場合があります

- 2** 右のような画面が表示されたら、本商品の無線ネットワーク名(SSID)を選択し、[接続] をクリックします。



- 3** 暗号化キーを「ネットワークキー」と「ネットワークキーの確認入力」の両方に入力してください。

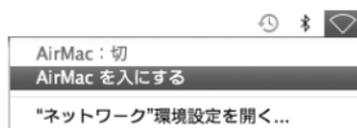
本商品の底部に記載されている無線ネットワーク名(SSID)に対応した暗号化キーを入力してください。入力後 [接続] をクリックします。

- 4** 画面の指示にしたがって接続を完了してください。

パソコンの「ワイヤレスネットワークの選択」画面を確認すると、接続した無線ネットワーク名 (SSID) の横に「接続」と表示されます。

Mac OS Xの場合

- 1 画面上部のアイコン  をクリックし、「AirMac を入にする」を選択します。実行すると、周囲の無線ネットワークが自動的に検出されます。



- 2 画面上部のアイコン  をクリックし、右の画面が表示されたら、本商品の無線ネットワーク名 (SSID) を選択してください。



- 3 「選択したAirMacネットワークに接続するには、パスワードが必要です。」と表示されます。

パスワード部分に本商品底部に記載の暗号化キーを入力して「パスワードをキーチェーンに保存」にチェックを入れ [OK] をクリックします。



ワイヤレスネットワークのアイコンが接続状態になると設定完了です。



参照

その他の機器については、それぞれの取扱説明書を参照してください。

— MEMO —

インターネットに接続

4

この章では、インターネットへの接続方法を説明しています。

- 4-1 Web設定画面へのアクセス 4-2
- 4-2 ルータモードのPPPoE設定 4-6

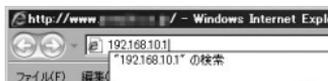
4-1 Web設定画面へのアクセス

アクセスポイントモードで利用する場合、本商品にインターネット接続（プロバイダ情報）の設定は必要ありません。以下はおもにルータモードで利用する場合の説明になります。

1 Web ブラウザを立ち上げます。



2 アドレスバーに本商品のLAN IP アドレス(192.168.10.1)を入力し、キーボードの <ENTER> キーを押します。



※ 本商品のWeb設定や設定内容の確認には、Windows[®]およびWindows Vista[®]の場合はInternet Explorer[®]（6.0～9.0）、Mac OSの場合はSafari（3.0.4～5.1.4）のご利用をお勧めします。ゲーム機や携帯端末に搭載されているWebブラウザの場合、本商品の設定や画面表示が正しく行われない場合があります。



お知らせ

本商品のLAN IPアドレスはモードの切替スイッチの設定により異なります。ルータモードは192.168.10.1ですが、アクセスポイントモードとクライアントモードについては以下の通りです。

接続上部のルータがDHCPサーバー有の場合

アクセスポイントモード：xxx.xxx.xxx.211

クライアントモード：xxx.xxx.xxx.240

※xxxは上部に接続したルータにより異なります。ネットワークアドレス体系の確認またはご使用の機器の取扱説明書を参照してください。

上記方法で接続できない場合または接続上部ルータのDHCPサーバーが無い場合

アクセスポイントモード：192.168.0.1

クライアントモード：192.168.0.1

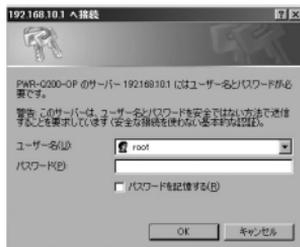
※本商品の上部に接続したルータとネットワークアドレス体系が異なっている場合は、ファームウェアの自動更新や時刻修正などの機能が動きませんのでご注意ください。



参照

ネットワークアドレス体系の確認方法についてはリファレンスガイドを参照してください。

- 3** このような画面が表示されたら、ユーザー名部分に「root」（小文字）と入力し、パスワードは空欄のままで「OK」をクリックします。





メモ

- 出荷時設定ではパスワードは設定されていません。パスワードを忘れてしまった場合は、初期化ボタン(1-10ページ参照)で本商品を初期化してください。パスワードは未設定に戻ります。ただし、その他の設定もすべて初期設定に戻りますのでご注意ください。
- 上記方法で上のような画面が表示できない場合は、本商品の電源を入れなおして再度操作してください。

4 管理者パスワード初期設定画面が表示されます。

管理者パスワード初期設定

管理者パスワード初期設定

第三者による不意のアクセスを防止するためにパスワードを設定します。
パスワードは取扱説明書にメモを取るなど大切に保管してください。
パスワードを忘れてしまった場合は機器初期化が必要となり、全ての設定が失われます。
設定しない場合は空白のまま決へを選択してください。

管理者パスワード初期設定

| | |
|---------------|--------------------------|
| 管理ユーザー名 | root |
| 管理者パスワード | <input type="password"/> |
| 管理者パスワード(再入力) | <input type="password"/> |

管理者パスワードを設定してください。入力後、[設定] をクリックします。



参照

設定画面に入ったあとの詳細については、リファレンスガイドを参照してください。



IPアドレスの手動設定

メモ

※以下の説明は、上位にあるPWR-Q200-OP(もしくは無線ルータ)のDHCPサーバーが無効の場合となります。

アクセスポイントモード/クライアントモードでWeb設定画面にアクセスする場合は、インターネットプロトコル (TCP/IP) の設定が必要です。

インターネットプロトコル (TCP/IP) の設定画面への接続は各端末のマニュアルにしたがってください。

インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ

全般

ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせてください。

IP アドレスを自動的に取得する(O)

次の IP アドレスを使う(S):

IP アドレス(I): 192 . 168 . 0 . 5

サブネット マスク(U): 255 . 255 . 255 . 0

デフォルト ゲートウェイ(D):

DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)

次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):

優先 DNS サーバー(P):

代替 DNS サーバー(A):

終了時に設定を検証する(L)

詳細設定(V)...

OK キャンセル

このような画面が表示されたら、IPアドレスに192.168.0.5、(“5”は任意の数字です。2-254までの数字を入れることができます。)サブネットマスクに255.255.255.0と入力して [OK] をクリックします。

4-2 ルータモードのPPPoE設定

1 Web設定から [WAN設定] をクリックします。



2 このような画面が表示されたら設定を変更したい接続先の [編集] をクリックします。

| 接続先名 | 接続可 | 優先接続 | 操作 |
|------|-------------------------------------|------|-----------------------------------|
| 接続先1 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◎ | <input type="button" value="編集"/> |
| 接続先2 | <input type="checkbox"/> | ○ | <input type="button" value="編集"/> |
| 接続先3 | <input type="checkbox"/> | ○ | <input type="button" value="編集"/> |
| 接続先4 | <input type="checkbox"/> | ○ | <input type="button" value="編集"/> |
| 接続先5 | <input type="checkbox"/> | ○ | <input type="button" value="編集"/> |

3 このような画面が表示されたらプロバイダーから支給されているユーザー名 (ID) とパスワードを入力し [設定] をクリックします。



接続先名:

ユーザー名:

パスワード: パスワードも表示する

IPアドレス: ※ 自動選択 ◎ 手動設定 ◎ Unnumbered

IPアドレスポートマスク: /



- 接続先名は任意で設定可能です。
- PPPoEの設定は最大5つまで登録が可能です。
- 本商品は自動的にバージョンアップする機能を搭載しています。インターネット接続が可能な状態においては、ファームウェアの自動更新や時刻修正の機能が働きます。
- かんたん設定で設定をする場合は画面の指示にしたがって設定してください。

その他の設定

5

この章では、クライアントモードで使用する場合の説明をしています。

| | |
|---------------|-----|
| 5-1 クライアントモード | 5-2 |
|---------------|-----|

5-1 クライアントモード

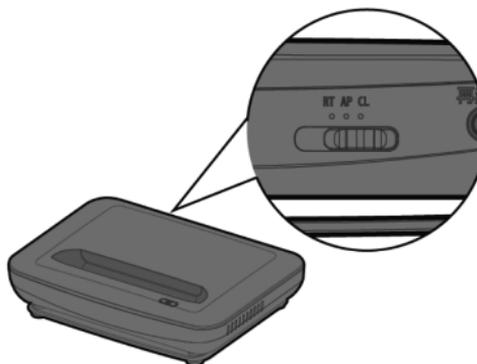
クライアントモードは、無線LAN機能がないパソコンなどで無線LANを利用する場合に使用します。

※モードを切り替える場合、電源コードをコンセントから抜き、一度電源を切ってから行って下さい。

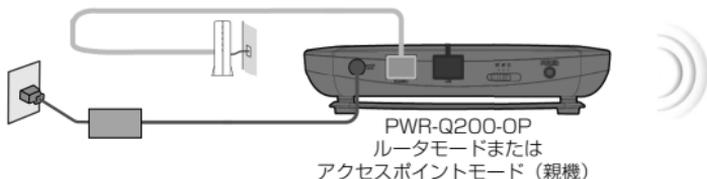
※親機側はPWR-Q200-OPのみ動作を保証しています。その他の無線ルータをご使用の場合動作の保証はいたしかねます。



- 1** 本商品のモード切替スイッチを「CL」にセットします。

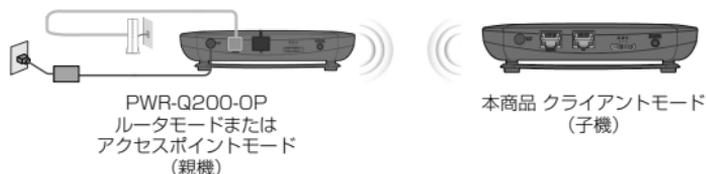


- 2** 下図のように親機側PWR-Q200-OPの無線ネットワークが確立されていることを確認します。



無線ネットワーク

- 3** クライアントモードにセットした本商品の電源を入れて親機側 PWR-Q200-OPの無線LANの電波範囲内に設置します。



- 4** LANケーブルを本商品のLANポートとパソコンに接続し、親機側 PWR-Q200-OPおよび本商品のSETボタンをそれぞれ押せば、設定が完了します。



- 5** しばらく待ち、本商品のLEDランプが次のように点灯していることを確認します。

- POWER (電源) 緑に点灯
- LINK/ACT (有線LAN) 橙に点灯
- Wi-Fi (無線LAN) 緑、橙、赤のいずれかで点灯
もしくは点滅
- CLIENT (クライアントモード) 緑に点灯

- 6** これで本商品のクライアントモードでのセットアップは完了です。

— MEMO —

困ったときは

6

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずここを読んで対処してください。

該当項目がない場合や対処をしても問題が解決しない場合は、本商品を初期化し、初めから設定し直してください。

- 6-1 有線LANでインターネットに接続できない …………… 6-2
- 6-2 Web設定画面を開けない …………… 6-4
- 6-3 無線LANでインターネットに接続できない …………… 6-6
- 6-4 その他で困ったときは …………… 6-7

6-1 有線LANでインターネットに接続できない

| 症 状 | 原因と対策 |
|----------------|--|
| 有線 LAN で接続できない | <ul style="list-style-type: none"> ● 本商品とパソコン両方の電源が ON になっていることを確認してください。 ● LAN ボードまたは LAN カードがパソコンに正しく設定されているかを確認してください。 ● LAN ケーブルが本商品の LAN ポートとパソコンの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか確認してください。 ● パソコンが LAN ボードまたは LAN カードを認識しているかを確認してください。 ● パソコンのネットワーク接続でご利用になる LAN ポートが有効になっていることを確認してください。確認方法はパソコンの取扱説明書などを参照してください。 ● ご利用のパソコンが「IP アドレスを自動的に取得」に設定されていることを確認してください。(7-2 章を参照) |
| インターネットに接続できない | <p>【ルータモードの場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本商品のランプが次のように点灯しているかどうか確認してください。 POWER (電源) : 緑に点灯 Wi-Fi (無線 LAN) : 緑または橙に点灯または点滅または消灯 LINK/ACT : 緑に点灯 CLIENT (クライアントモード) : 消灯 ● PPPoE の設定 (プロバイダ情報) が正しく入力されているか確認してください。 ● 「2 章 設置」を参照して、ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ● ダイアルアップの設定がある場合は、Web ブラウザの [インターネットオプション] の [接続] で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認します。 |

| 症 状 | 原因と対策 |
|----------------|---|
| インターネットに接続できない | <ul style="list-style-type: none"> ● 「Web 設定画面」の「WAN 設定」－「有線 LAN」で、接続したい接続先の「接続可」にチェックが入っているかを確認してください。 ● 本商品の電源を入れ直してください。 <p>【アクセスポイントモードの場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本商品のランプが次のように点灯しているかどうか確認してください。 POWER（電源）：緑に点灯 Wi-Fi（無線 LAN）：緑または橙に点灯または点滅または消灯 LINK/ACT：橙点灯 CLIENT（クライアントモード）：消灯 ● 「2 章 設置」を参照して、ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ● ダイアルアップの設定がある場合は、Web ブラウザの「インターネットオプション」の「接続」で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認します。 ● 本商品の電源を入れ直してください。 <p>【クライアントモードの場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本商品のランプが次のように点灯しているかどうか確認してください。 POWER（電源）：緑に点灯 Wi-Fi（無線 LAN）：緑に点灯または点滅 LINK/ACT：橙に点灯 CLIENT（クライアントモード）：緑に点灯 ● 「5 章 その他の設定」を参照して、ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ● ダイアルアップの設定がある場合は、Web ブラウザの「インターネットオプション」の「接続」で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認します。 ● 本商品の電源を入れ直してください。 |

6-2 Web設定画面を開けない

| 症 状 | 原因と対策 |
|---|--|
| Web 設定画面を開けない | <ul style="list-style-type: none"> ● 有線または無線で正しく接続されているか確認してください。 ● 正しいIPアドレスを入力しているか確認してください。 IPアドレスの初期値 <ul style="list-style-type: none"> ・ ルータモードの場合：192.168.10.1 ・ アクセスポイントモードの場合：X.X.X.211 ・ クライアントモードの場合：X.X.X.240 ● パスワードを忘れてしまった場合は、初期化ボタンで本商品を初期化してください。(1-10ページ) ● パソコンのLAN設定を「IP アドレスを自動的に取得する」にします。(7-2章を参照) ● 本商品の電源を入れ直してください。 ● Web ブラウザや OS の設定で「プロキシサーバーを使用する」になっている場合、本商品の Web 設定画面のページが表示されないことがあります。「プロキシサーバーを使用しない」に設定してください。 ● ダイアルアップの設定がある場合は、Web ブラウザの [インターネットオプション] の [接続] で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認してください。 |
| Web ブラウザで、本商品の Web 設定画面ページが正常に表示されない または操作が正常にできない | <ul style="list-style-type: none"> ● お使いの Web ブラウザの設定で「JavaScript™」を有効に設定してください。 ● お使いの Web ブラウザが本商品に対応しているかは、リファレンスガイドの「Web 設定画面」の各モードを参照のうえ確認してください。 |

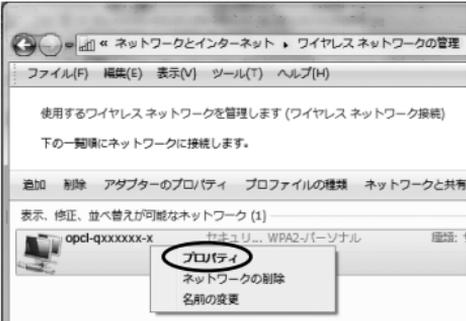
| 症 状 | 原因と対策 |
|---|--|
| アクセスポイントモード、クライアントモードでLINK/ACTランプが赤点減している | <ul style="list-style-type: none">● アクセスポイントモードとクライアントモードの場合、WAN 側ルータの DHCP サーバがないなどにより、WAN 側 IP アドレスが取得できない状態となると、LAN 側 IP アドレスが、自動的に「192.168.0.1」に設定されます。● 本商品の WAN 側に接続されているルータなどの DHCP サーバが有効になっていることを確認してください。 |

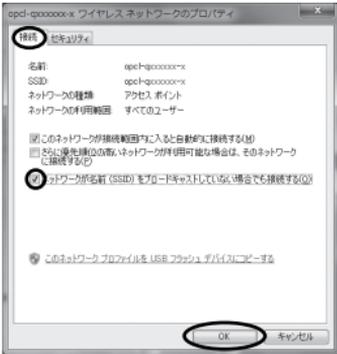
6-3 無線LANでインターネットに接続できない

| 症 状 | 原因と対策 |
|----------------------|--|
| 無線LANでインターネットに接続できない | <ul style="list-style-type: none"> ● 本商品と同じ無線ネットワーク名 (SSID)、暗号化方式、暗号化キーを使用して無線デバイスを設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 無線ネットワーク名 (SSID) <ul style="list-style-type: none"> ．．．．． 本商品底部の出荷時設定情報ラベルに印刷されています。 ・ 暗号化方式 ．．．． リファレンスガイドの「Web 設定画面」を参照してください。 ・ 暗号化キー ．．．． 本商品底部の出荷時設定情報ラベルに印刷されています。 ● 本書の「ご使用にあたって」、「電波に関するご注意」の項目を参照し、適切な環境で接続を試みてください。 ● 2.4GHz/5GHz で適切な周波数が設定されているか確認してください。 ● 端末側の機器が、無線LANのチャンネル12、13に対応していない場合は、無線LANのチャンネル(1～11ch)を手動で設定してください。設定方法は、リファレンスガイドを参照してください。 ● 本商品の電源を入れ直してください。 |

6-4 その他で困ったときは

| 症 状 | 原因と対策 |
|-----------------------------|--|
| 無線ネットワーク名 (SSID) と暗号化キーを忘れた | <ul style="list-style-type: none"> ● 本商品の底部の出荷時設定情報ラベルに記載された無線ネットワーク名 (SSID) と暗号化キーをご確認ください。 ● 本商品を初期化してください。(1-10 ページ) パスワード、無線ネットワーク名 (SSID)、暗号化キーの設定が初期化され、工場出荷時の設定に戻ります。 <p>以下は本商品の出荷時の初期設定です。</p> <p>SSID1 : [opcl-qxxxxxx-1] 出荷時設定情報ラベルに印刷してあります。</p> <p>無線の暗号化 : WPA2-PSK (AES) 暗号化キー : 出荷時設定情報ラベルに印刷してあります。</p> <p>SSID2 : [opcl-qxxxxxx-2] 出荷時設定情報ラベルに印刷してあります。</p> <p>無線の暗号化 : WEP (128bit) 暗号化キー : 出荷時設定情報ラベルに印刷してあります。</p> <p>SSID3 : [opcl-qxxxxxx-3] 出荷時設定情報ラベルに印刷してあります。</p> <p>無線の暗号化 : WPA2-PSK (AES) 暗号化キー : 出荷時設定情報ラベルに印刷してあります。</p> <p>SSID4 : [opcl-qxxxxxx-4] 出荷時設定情報ラベルに印刷してあります。</p> <p>無線の暗号化 : WEP (128bit) 暗号化キー : 出荷時設定情報ラベルに印刷してあります。</p> |

| 症 状 | 原因と対策 |
|--|---|
| <p>無線ネットワーク名 (SSID) 隠蔽を使用する設定を行ったあと、無線接続ができなくなった</p> | <p>●「無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽」の機能を「隠蔽を使用する」に設定し、パソコンを再起動すると、無線接続できなくなる場合があります。その場合は、以下の手順で設定を行ってください。(例：Windows[®] 7の場合)</p> <p>①「コントロールパネル」－「ネットワークとインターネット」－「ワイヤレスネットワークの管理」を選択します。</p> <p>②本商品の無線ネットワーク名 (SSID) を右クリックし、[プロパティ] を選択します。</p>  |

| 症 状 | 原因と対策 |
|--|---|
| <p>無線ネットワーク名 (SSID) 隠蔽を使用する設定を行ったあと、無線接続ができなくなった (つづき)</p> | <p>③ [接続] タブを選択します。 ④ 「ネットワークが名前 (SSID) をブロードキャストしていない場合でも接続する」にチェックを入れ、[OK] ボタンをクリックします。</p>  |
| <p>自分で設定した管理者ログインパスワードを忘れてしまった</p> | <p>● 本商品を初期化してください。(1-10 ページ)</p> |
| <p>Windows[®] 7 で WPS が行えない</p> | <p>● お使いの環境によっては、本商品の無線ネットワーク名 (SSID) を選択したあと、「ルーターのボタンを押すことによって接続できます。」が表示されず、WPS ができないことがあります。 その場合は、一度画面を閉じたあと、再度やり直すか、あるいは、出荷時設定情報ラベルに印刷された無線ネットワーク名 (SSID) および暗号化キーを参照し、手動接続を行ってください。</p> |

| 症 状 | 原因と対策 |
|--------------|---|
| PIN コードを忘れた | <ul style="list-style-type: none">● 本商品の底部の出荷時設定情報ラベルに記載された PIN コード(初期値)をご確認ください。● 本商品の「Web 設定画面」を開き「LAN 設定」－「Wi-Fi 設定」－「無線 LAN 簡単セットアップ」の「PIN AP/Enrollee」に表示されている PIN コードをご確認ください。 |
| バージョンアップできない | <ul style="list-style-type: none">● 本商品または、本商品の WAN 側に接続されているルータなどがインターネットに接続しているか確認してください。 |
| 時刻修正できない | <ul style="list-style-type: none">● 本商品または、本商品の WAN 側に接続されているルータなどがインターネットに接続しているか確認してください。 |

| | | |
|-----|---------------|-----|
| 7-1 | 仕様一覧 | 7-2 |
| 7-2 | パソコンのネットワーク設定 | 7-4 |
| 7-3 | リファレンスガイドについて | 7-7 |

7-1 仕様一覧

● PWR-Q200-OP

| ■ ハードウェア仕様 | |
|-----------------|--|
| 無線 LAN インターフェース | |
| 準拠規格 | IEEE802.11a/IEEE802.11b/ IEEE802.11g/ IEEE802.11n |
| 伝送方式 | DSSS、OFDM、MIMO |
| 周波数範囲 | 2,412 - 2,472MHz (チャンネル 1 - 13) 5,180 - 5320MHz (チャンネル 36 - 64) |
| 伝送速度 | 802.11b: 11、5.5、2、1Mbps 802.11g: 54、48、36、24、18、12、9、6Mbps 802.11a: 54、48、36、24、18、12、9、6Mbps 802.11n: HT20(HT40) HT20 130/117/104/78/52/39/26/13 Mbps (mcs15-8) (2 ストリーム) (LongGI) 65/58.5/52/39/26/19.5/13/6.5 Mbps (mcs7-0) (1 ストリーム) HT40 270.0/243.0/216.0/162.0/108.0/81.0/54.0/27.0Mbps (mcs15-8) (2 ストリーム) (LongGI) 135/121.5/108.0/81.0/54.0/40.5/27.0/13.5Mbps (mcs7-0) (1 ストリーム) HT40 300.0Mbps (mcs15) (2 ストリーム) (ShortGI) 150.0Mbps (mcs7) (1 ストリーム) |
| セキュリティ | WPA2-PSK (TKIP/AES)、WPA/WPA2-PSK mix mode (TKIP/AES)、WPA-PSK (TKIP/AES)、WEP (128/64ビット)、MACアドレスフィルタ、Any接続拒否/無線ネットワーク名 (SSID) ステルス機能 |

| ■ ハードウェア仕様 | |
|------------------------------|---|
| 有線インターフェース (INTERNET/LANポート) | |
| 準拠規格 | IEEE 802.3ab (1000BASE-T)、IEEE802.3u (100BASE-TX)、IEEE802.3 (10BASE-T) ※1 |
| 伝送速度 | 10/100/1000 Mbps ※1 |
| 伝送方式 | CSMA/CD |
| LAN/ INTERNET ポート数 | 1/1 |
| LAN/ INTERNET ポートコネクター | RJ-45 |

| その他 | |
|------|--------------------------------|
| 使用電源 | AC100V±10V (50/60Hz) |
| 消費電力 | 約 9 W (最大) |
| 外形寸法 | 約144 (W) ×約97 (D) ×約33 (H) mm |
| 重量 | 約260g |
| 動作環境 | 温度：0～35℃、湿度：10～80% (ただし結露なきこと) |

※1 本商品を快適にご利用いただくには、1000BASE-T、1000Mbpsもしくは100BASE-TX、100Mbpsの方式での接続を推奨します。

7-2 パソコンのネットワーク設定

Windows® 7

Windows® 7で設定を行う場合、以下の手順にしたがってください。

- 1 [スタート] - [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット] をクリックします。
- 2 [ネットワークと共有センター] をダブルクリックします。
- 3 左側の機能リストから [アダプターの設定の変更] をクリックします。
- 4 [ローカルエリア接続] でマウスを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- 5 [続行するにはあなたの許可が必要です] と表示されたら、[続行する] をクリックします。
- 6 [インターネット プロトコル バージョン4 (TCP/IPv4)] が表示されたら [プロパティ] をクリックします。
- 7 [IPアドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択し、[OK] をクリックします。
- 8 [OK] をクリックします。

Windows Vista®

Windows Vista®で設定を行う場合、以下の手順にしたがってください。

- 1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックします。
- 2 [ネットワークと共有センター] をダブルクリックします。
- 3 左側の機能リストから [ネットワーク接続の管理] をクリックします。
- 4 [ローカルエリア接続] でマウスを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- 5 「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行する] をクリックします。
- 6 「インターネット プロトコル バージョン4 (TCP/IPv4)」が表示されたら [プロパティ] をクリックします。
- 7 「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択し、[OK] をクリックします。
- 8 [閉じる] をクリックします。

Windows® XP

Windows® XPで設定を行う場合、以下の手順にしたがってください。

- 1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックします。
- 2 [ネットワーク接続] をダブルクリックします。
- 3 [ローカルエリア接続] でマウスを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- 4 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、[プロパティ] をクリックします。
- 5 「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択し、[OK] をクリックします。
- 6 [閉じる] をクリックします。

Mac OS X

Mac OS Xで設定を行う場合、以下の手順にしたがってください。

- 1** アップルメニューー[システム環境設定]ー[ネットワーク]をクリックします。
- 2** [Ethernet]をクリックします。
- 3** [IPv4の構成]で[DHCPサーバを使用]を選択します。
- 4** [DNSサーバ]と[検索ドメイン]は変更せず、[適用]をクリックします。
- 5** ウィンドウを閉じます。

7-3 リファレンスガイドについて

本商品についての詳細は

http://web116.jp/shop/hikari_p/q200op/q200op_00.html

の「サポート」に掲載されているリファレンスガイドを参照してください。



お知らせ

リファレンスガイドには各種設定や接続方法などの詳細について記載しています。

— MEMO —

— MEMO —

本商品のお取扱方法等に関する相談は

- NTT東日本エリア(北海道、東北、関東、甲信越地方)の方
NTT東日本 通信機器お取扱相談センター



0120-970413

受付時間／9:00～17:00(年末年始12月29日～1月3日は除く)

携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用の場合



03-5667-7100

(通話料がかかります)

故障の時は



0120-000113

(24時間受付 年中無休※)

※17:00～翌日9:00までは、録音にて受付しており順次ご対応いたします。

※故障修理などの対応時間は9:00～17:00です。